

会 議 録

| | | |
|--------------|--|--|
| 会議名 | 平成28年度 第7回 小金井学童保育所運営協議会 | |
| 事務局 (担当課) | 児童青少年課 | |
| 開催日時 | 平成28年11月7日(月) 19時00分～21時00分 | |
| 開催場所 | 801 会議室 | |
| 出席者 | 委員 | 伏見委員長 竹ノ内副委員長 大澤委員 鈴木委員 仙澤委員 中山委員 中村委員 岩野委員 外山委員 関委員 百瀬委員 北村委員 吉村委員 小倉委員 |
| | 事務局 | 越学童保育係長 |
| 会議次第 | 1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について (2) その他 3 閉会 | |
| 配布資料 | ・平成28年度小金井市学童保育所利用者アンケート集計 ・平成29年度学童保育所入所見込数 ・放課後子ども教室について ・ほんちょう学童父母会アンケート | |
| | 1 会議録について (市) 第6回の会議録について双方確認したので確定とする。 2 小金井市学童保育連絡協議会運動会について (学) 市長をはじめ、ご来賓ありがとうございました。大きな事故もなく終了した。 3 学童保育所利用者アンケートについて (市) 10月に各学童保育所利用者アンケートを実施し、集計をまとめた。今後、HPでも公表する。また、自由記述部分はまとめているところであり、次回提出したい。 (学) 回収率が昨年より下がっているの、来年度は工夫できないか。 (学) データの提供をお願いしたい。 (市) 昨年と同様、提供する。 (市) 障害児枠を撤廃しており、21番の質問は来年度以降必要か。ご意見いただきたい。 (学) 持ち帰る。 4 来年度の入所見込について (市) 市内の保育園や幼稚園に通う年長児を対象として入所希望調査を行 | |

い、入所見込数をまとめた。市外の保育園・幼稚園に通う児童や今後市外から転入してくる児童は反映できないので、多少増加することと思う。

(学) あかね学童が20人以上、さわらび学童も20人以上、みどり学童も増加する。まえはら学童も今年度と同程度かなり超過している。委託学童では児童の増加が見込まれているので、委託料の増額を引き続きお願いしたい。

(市) 委託料については、どのようにできるか検討中である。

(学) あかね学童が167人とあるが、来年度以降、何か方針はあるか。

(市) 市の計画として、平成27年3月に「のびゆく子どもプラン 小金井」を策定したところであるが、量の見込みが現状と乖離しており、子ども子育て会議の中で議論しているところである。

全入は市の方針としてあるが、今後の大規模化対策について、新たな建設計画案が現在ない。入所基準の設定、民設民営学童、学校の教室借用、民間建物の活用、学区域の見直し等、総合的に検討していく必要があると考えている。今後皆さんと議論していきたい。現時点で明確な方針はない。全入の見直しについても改めて議論していきたい。

(学) 学童保育と放課後子ども教室とのすみわけを明確にして欲しい。

(学) 学区域の見直しについて、何か検討しているか。

(市) 中央線の高架化が終わり議論として上がっている。教育委員会の検討事項である。

(学) 学区域の見直しは、効果が出るまで数年かかる。

全入の見直しは、さまざまな施策を実施してからの議論ではないか。現在の放課後子ども教室は充実していない。

(学) 学童の子どもはどのように放課後子ども教室を利用しているのか。

(市) 中抜けして放課後子ども教室に行く。

(市) 学校によって実施頻度にばらつきがあり、学童の子どもの利用状況も様々である。

(市) 放課後子ども教室も運営主体が様々あり、学童保育所が全てを把握できているわけではない。

(学) 施設を早急に増やせないならば、指導員を増やして対応すべきである。

(学) 利用者アンケート13番の指導員の体制に関する質問について。委託所で児童数の増加に対して委託料は変わっておらず、結果として指導員数がそのままであるのが理由ではないか。

(学) 来年の1年生の障がい児の人数について。何か対策はあるか。

(市) 昨年とほぼ同程度である。学童保育所では全ての障がいのある児童に加配をしているわけではない。入所見込数は、住まいの学区で集計しているため、障がいのある児童が特別支援学級に通い隣接する学童に通う場

合は異なることもある。

5 放課後子ども教室について

(市) 前回の会議で要望があったため、資料を提出する。

(学) 資料の見方で、ボランティア数や大人の数がゼロというのはどうい
う場合か。

(市) 運営側で有償スタッフは表の人数に含まれていない。

(学) 実施頻度が学校によって大きくバラつきがあるのは何故か。

(市) 地域のサポートやコーディネーターの状況により異なる。市内9学
校で統一の方針はないようだ。

(学) 市から補助金がでているのか。

(市) 国や都から補助金が出ている。

6 ほんちょう学童父母会アンケートについて

(学) ほんちょう父母会で「今後のほんちょう学童のあり方について」の
アンケートを実施した。内容は資料のとおり。

(市) 今後のほんちょう学童については、現在内部で調整しており、次回
の運営協議会で一定の方向性を示したい。

(学) ほんちょう保護者への説明は行うのか。

(市) 父母会会長とも相談の上、適切な時期に説明する。

7 みなみ学童、さわらび学童保護者会について

(市) 10月14日にみなみ学童の保護者会、10月28日にさわらび学童の
保護者会があり、平成30年度からの民間委託について説明を行った。

参加者からは、再発防止策に関心があり、委託後の市と事業者とのコミ
ュニケーションを充実させて欲しいとの要望があった。再発防止に関して
は今後も引き続き運営協議会でも議論していきたい。

スケジュールに関しては特段の質疑はなく、学童父母会としても平成
30年度からの委託に前向きに捉えるとあった。

保護者への説明は今回だけでなく、必要に応じ行っていく。次の事務手
続きとして、まずは来年度の予算事務を進める。

(学) みなみ学童は平成30年度の委託で了承する。さわらび学童は平成
30年度の委託の方向で前向きに捉えて進めていきたい。

(学) 市の検証結果を受け、学保連からの要望について、仕様書、選考基
準、募集要項等、どのように反映していくのか。

(市) 要望については、出来る限り反映させていきたいが、出来ることと
出来ないことがあるので、ご了承いただきたい。来年度の当初予算は、第
1回定例会に計上することになると思う。

(学)利用者側から選考委員を出したい。学保連でも今後協議し示したい。
(市)市の業務の受託事業者の選考であり、利用者が選考委員になることは、公平性・公正性の観点から慎重な検討が必要と考えている。
(学)引継期間について、前は2か月強。今回の考え方は。
(市)総時間数は前回と同じ。契約を早くすることにより、引継期間は長く取れる。3か月くらいは確保したいと考えている。

8 指導員の有資格について

(市)臨時職員の確保に苦労している。職員の資格については小金井市学童保育所運営基準に定め、臨時職員含め、保育士や教諭等の有資格者に限定しているが、今後は児童福祉関連を学んでいる学生や子育て経験がある方など、条件の緩和を考えているが、学保連側の意見はどうか。
(学)臨時職員の業務はどのような内容か。
(市)保育の準備・補助、間食の提供、施設の清掃等が主な業務。
(学)時間単価は低くなるのか。
(市)有資格者と比べ、低くすべきと考える。
(学)保育の質を落とさないようお願いしたい。子育て経験だけを条件とするのは範囲が広すぎる。例えば、保育園や学童での勤務経験を条件とするのはどうか。学保連においても検討する。

9 学保連運動会について

(学)来年度の学保連運動会はみなみ学童が担当、南小学校は狭いため、第二中学校での開催を副校長にお願いしているが確定はしていない。なるべく早く確定させたいと考えている。仮に第二中学校が使用できない場合、上水公園グラウンドの選択肢も残しておきたい。空いている日程について共有してもらいたい。
(市)承知した。
(市)教育委員会より、11月3日に開催された学保連運動会で前原小学校の芝が踏み固められ手入れが必要との連絡があったのでお伝えする。
(学)大変お世話になったので、芝の穴あけや養生で人手が必要となる場合は、学保連で広くボランティアを呼び掛けたい。

10 宅配弁当について

(学)あかね・みどり父母会より、宅配弁当を冬休みも試行的に実施したいかがか。その他、たまむし・たけとんぼ・さわらび父母会でも試行的に実施したい。
(市)あかね・みどりの宅配弁当の取り決めの範囲内であれば、試行的に実施でよい。まずは、各所の指導員と調整願いたい。

| | |
|--|---------------------|
| | <p>1 1 次回日程について</p> |
|--|---------------------|

(市) 1 2月日程については調整後改めてお伝えする。